



平成 30 年 5 月 14 日
港 湾 局 政 策 調 整 課

横浜川崎国際港湾株式会社 諸岡代表取締役社長が、 IAPH（国際港湾協会）の総会にてスピーカーを務めました

平成 30 年 5 月 8 日（木）～11 日（金）にアゼルバイジャンにて開催された*IAPH（The International Association of Ports and Harbors－国際港湾協会）の総会において、横浜川崎国際港湾株式会社の諸岡代表取締役社長が 10 日に行われたワークショップにてスピーカーを務め、一定の環境基準を満たした船舶に対する補助や LNG バンカリングなど、横浜港の取組みを紹介しました。

このことについて、本日別添資料により横浜川崎国際港湾株式会社が記者発表を行いましたので、情報提供いたします。

本市といたしましては、今後も国、横浜川崎国際港湾株式会社及び事業者の方々と連携しながら、引き続き、横浜港における環境に配慮した取組を推進してまいります。

*IAPH（The International Association of Ports and Harbors－国際港湾協会）

世界の港湾管理者を中心とした非営利・非政府組織であり、各港湾の開発、組織、管理運営に関する情報を交換し、海上貿易を促進、発展及び振興し、全世界の港湾間の友好関係を推進することを目的として、1955 年に設立されました。同協会には、約 80 か国 163 の港湾管理者等が加入（平成 30 年 4 月 1 日現在）しており、本市も設立以来の加入メンバーとして協会の活動を積極的に支援しています。

お問合せ先		
港湾局政策調整課長	成田 公誠	Tel 045-671-2877

諸岡代表取締役社長が IAPH（国際港湾協会）の 総会にてパネリストとして登壇

平成30年5月8日(木)～11日(金)にアゼルバイジャンの首都バクーにて開催された国際港湾協会（IAPH）の総会にて、当社代表取締役社長 諸岡 正道が、パネリストとして2回登壇しました。

◆ 登壇したワークショップパネル◆

1. 「Who's afraid of LNG?」（誰が LNG を恐れるのか）
2. 「Port incentives for green shipping logistics」（環境にやさしい海運業を促進する為に港湾が行う助成制度について）



（写真）パトリック・バーホーベン氏（IAPH 政策戦略担当 MD、左一）、サンチアゴ・ガルシア・ミラ氏（IAPH 会長、右二）、と弊社諸岡社長（右一）アゼルバイジャン共和国の首都バクー市にあるブタパレスにて

諸岡社長は、世界各国からの参加者を相手に、横浜港における LNG バンカリングへの取組や、環境対策としての助成金制度の詳細を紹介すると共に、IAPH の環境委員会、技術委員会、港湾企画委員会のキーマン達とディスカッションを交わしました。

IAPH は、世界の港湾関係者が集まる唯一の国際 NGO 団体です。YKIP は 2016 年

8 月から IAPH に加盟しています。

お問合せ先

横浜川崎国際港湾(株)営業部長 熊 桜 TEL: 045-680-6583 FAX: 045-680-6637